

# <地域別構想編>

## 地域別構想編 目次

1. 地域別構想の策定にあたって…………… 75
2. 北部地域まちづくり構想（国見、瑞穂）…………… 77
3. 中部地域まちづくり構想（吾妻、愛野、千々石）…………… 87
4. 南部地域まちづくり構想（小浜、南串山）…………… 97

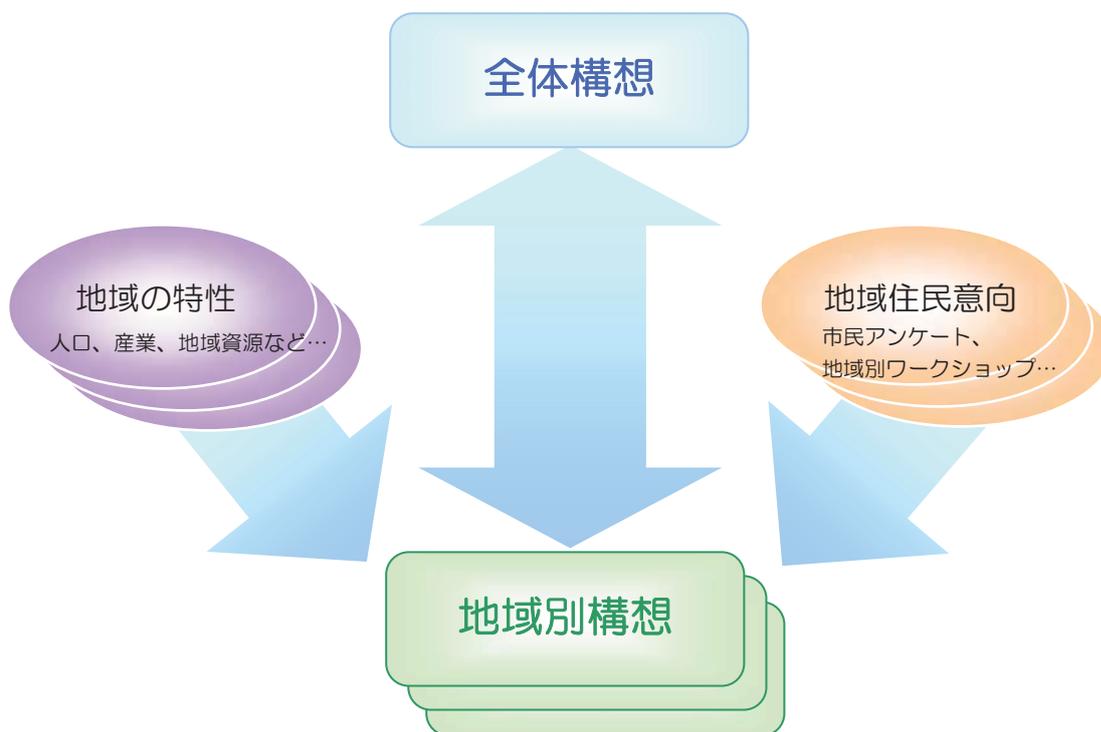


# 1. 地域別構想の策定にあたって

## 1-1 地域別構想について

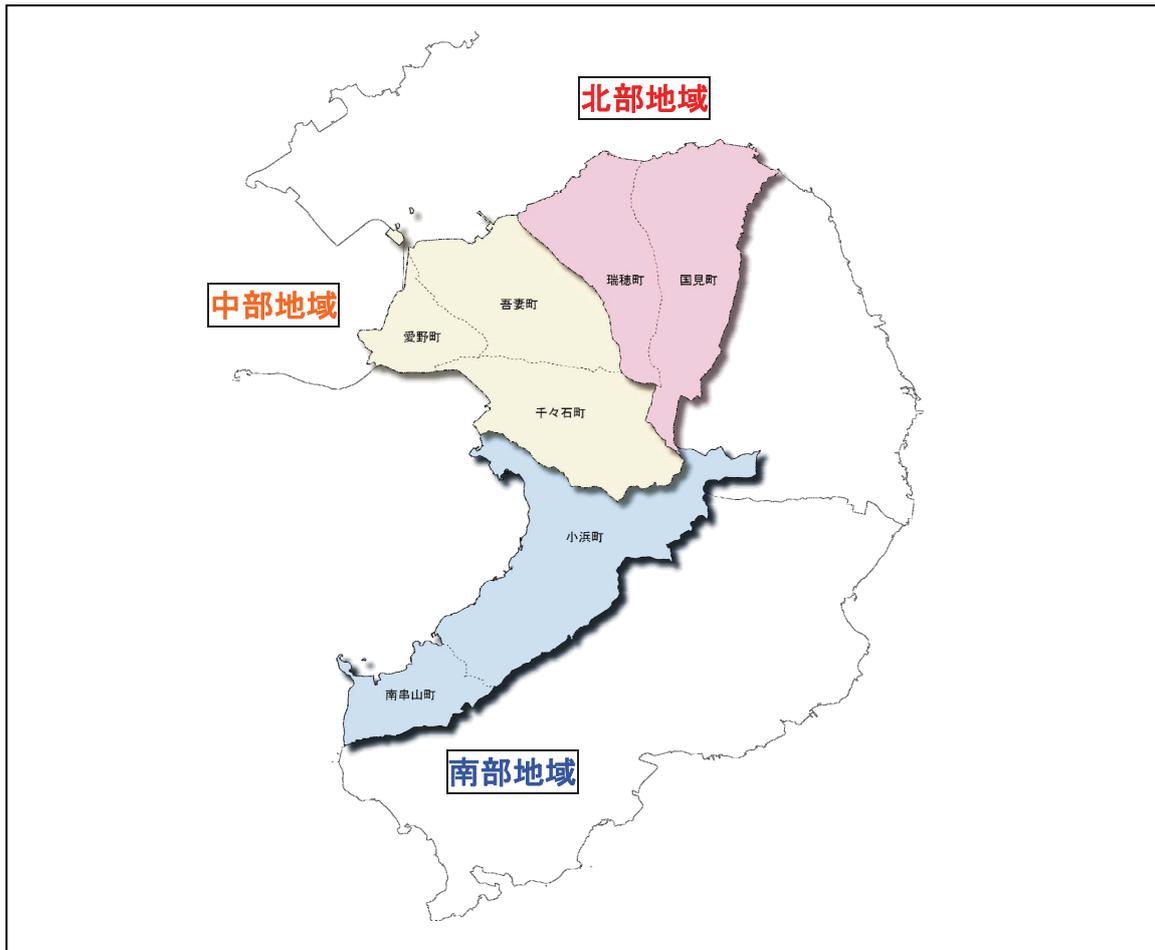
地域別構想は、全体構想における将来都市構造、各種まちづくり方針の実現を目指し、地域独自の特性や地域住民の意向を踏まえた上で、地域の将来像やまちづくりの方針を示します。

作成にあたっては、地域住民の意向を反映するため、「まちづくり市民アンケート」に加え、地域の方に集まっていたいただき、まちづくりについて議論する「地域別ワークショップ」を開催しました。地域の将来像やまちづくり方針には、地域住民の意見を可能な限り反映しています。



## 1-2 地域区分

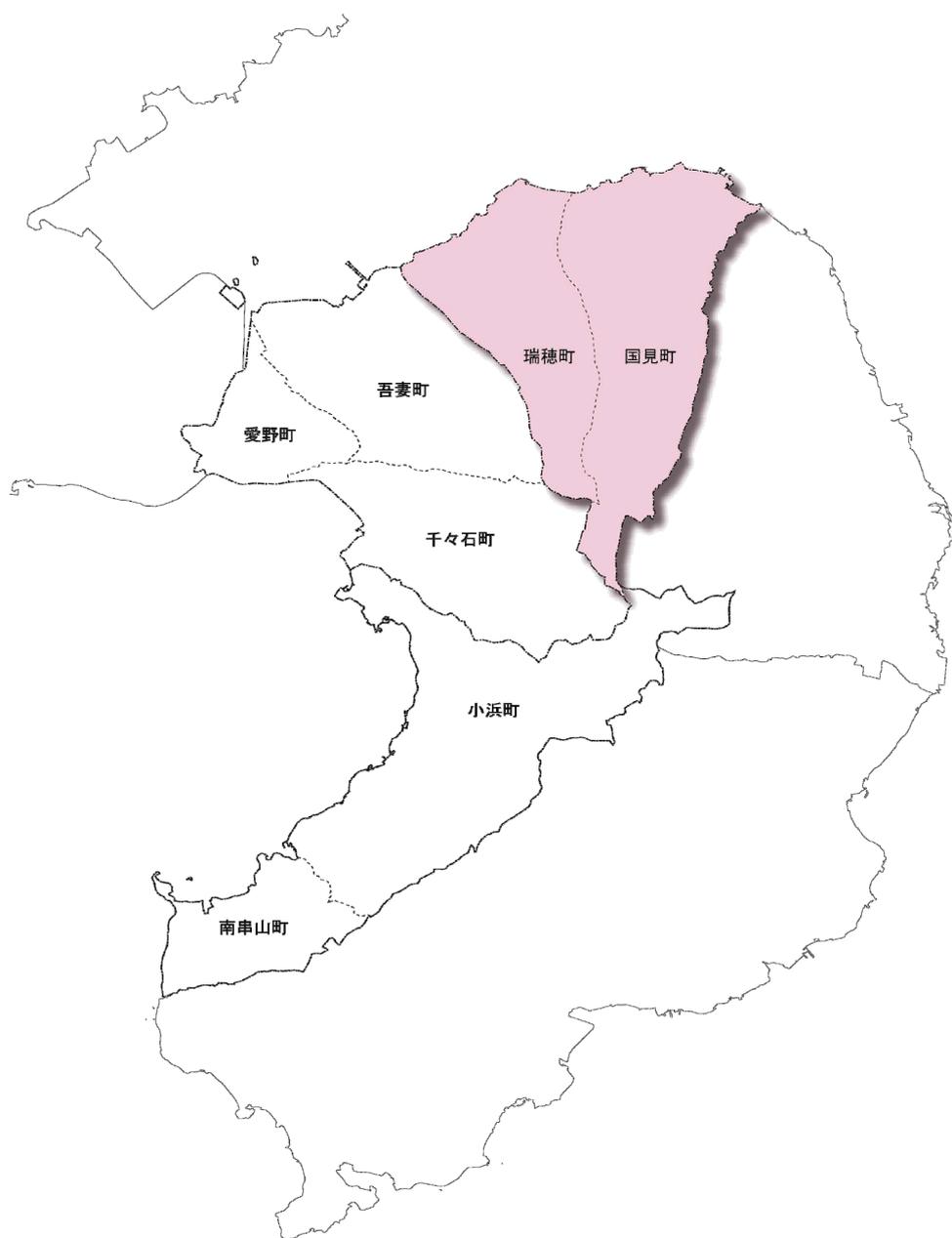
本市における地域区分にあたっては、全体構想の将来都市構造における地域生活行動圏を基本とします。市域が広く、7町が合併して間もないことから、旧来からのまとまりのある旧町を最小単位とし、通勤・通学や買物などの日常の生活圏、地域特性等を考慮して、北部、中部、南部の3つの地域に区分します。



地域名	人口	世帯数	構成
北部地域	16,755人	5,098世帯	国見町、瑞穂町
中部地域	18,171人	5,975世帯	吾妻町、愛野町、千々石町
南部地域	14,573人	5,437世帯	小浜町、南串山町

※人口、世帯数は、住民基本台帳\*による平成21年3月末現在の数値

## 2. 北部地域まちづくり構想



## 2-1 北部地域の概況と課題

### (1) 地域の現況／北部地域（国見町・瑞穂町）

#### 《位置・地勢》

- 本市の東の玄関口にあたり、島原市に隣接しています。
- 北側は有明海に面し、海岸沿いは平地であり、南側の雲仙に向かって標高が高くなっています。

#### 《人口・世帯数》

- 人口は、国見町、瑞穂町とも減少傾向、世帯数は、増加を示しています。
- 65歳以上人口比率は、28.3%で市平均26.8%を上回っています。

#### 《産業》

- 産業別就業人口は、市平均に比べ、第1次産業<sup>\*</sup>、第2次産業<sup>\*</sup>の割合が高く、第3次産業<sup>\*</sup>の割合が低くなっています。

#### 《道路・交通》

- 道路は、東西方向に国道251号、主要地方道愛野島原線、雲仙グリーンロード<sup>\*</sup>が通っており、南北方向に、国道389号、県道雲仙神代線、県道野田道西郷港線が通り、骨格を形成しています。
- 鉄道は、島原鉄道が国道251号に並行しています。
- 船舶は、多比良港が位置し、熊本県長洲港まで就航しています。

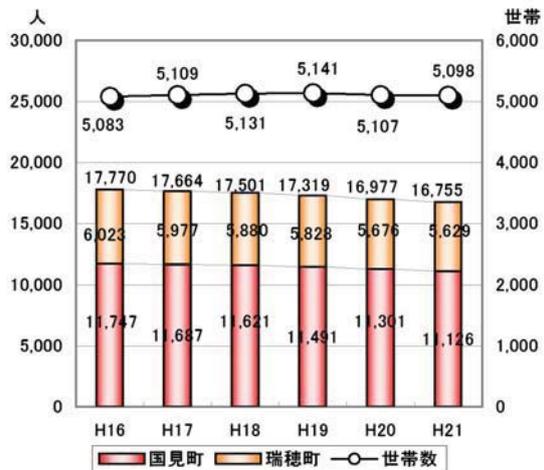
#### 《土地利用<sup>\*</sup>(市街地形成)》

- 島原鉄道の各駅を中心として市街地が広がっており、本地域においては、多比良駅周辺が最も規模が大きく、駅前には商店街が形成されています。
- 都市計画区域<sup>\*</sup>外の開発動向は、国道251号沿道において商業施設の立地がみられます。

#### 《地域の主な資源》

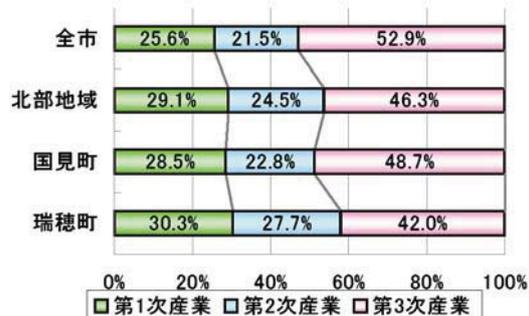
- 国見町には、国の重要文化財「鍋島邸」を中心とする重要伝統的建造物群保存地区<sup>\*</sup>の「神代小路地区」をはじめ、「淡島公園」、「県立百花台公園」、全国的にも有名な「百花台遺跡等の遺跡群」、潮干狩りや海水浴が楽しめる「長浜」があります。
- 瑞穂町には、温泉施設、宿泊施設、スポーツ施設等を有する「みずほすこやかランド」、キャンプ場やクラフトハウスを中心とする「みずほの森公園」、長崎県新観光百選にも選ばれた「岩戸神社」があります。

図 人口世帯数の推移

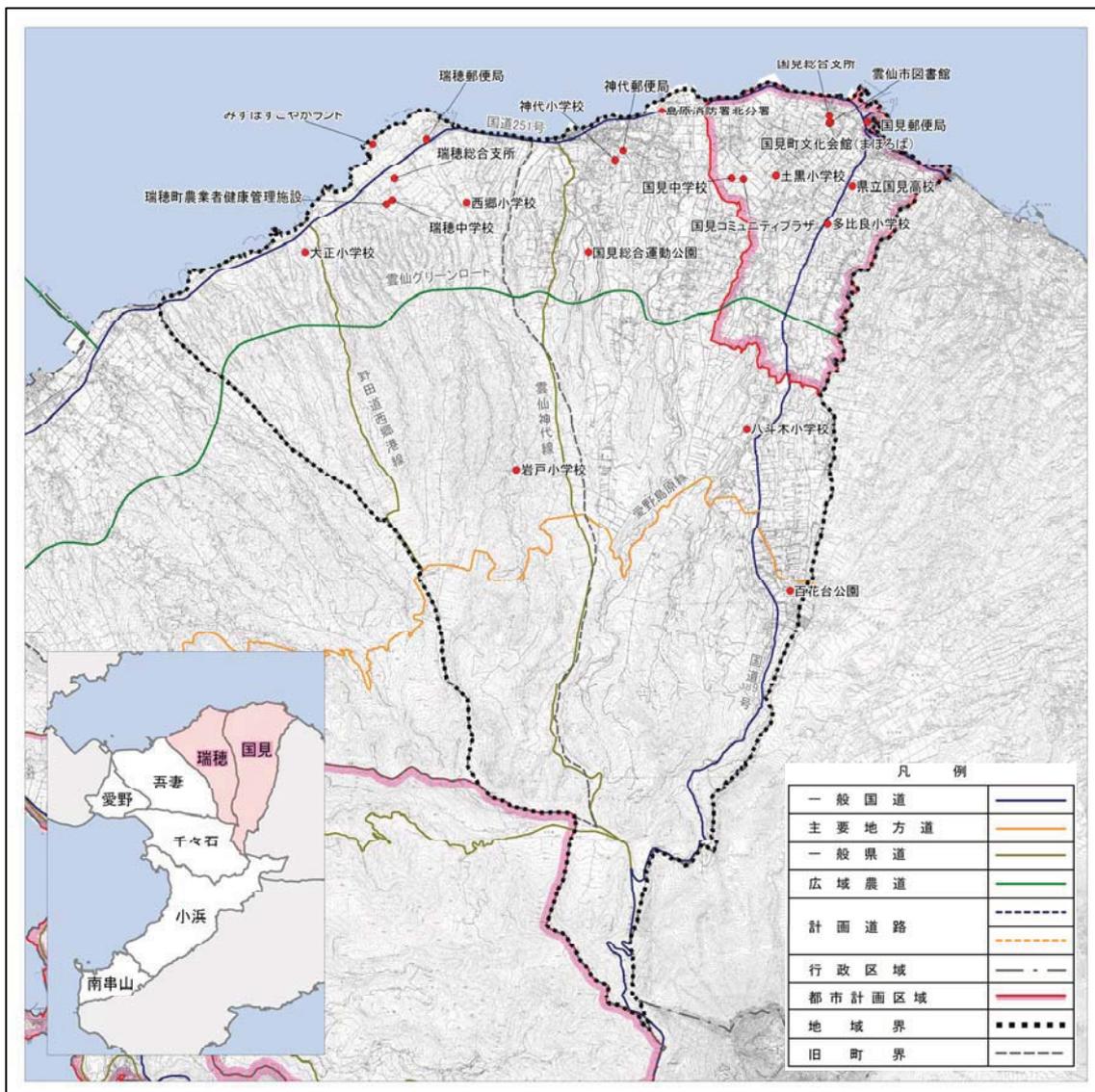


資料：住民基本台帳※  
各年3月末のデータ

図 産業別就業人口割合



資料：平成17年国勢調査※



## (2)地域住民の意見／北部地域

### 《市民アンケート》

◇地域の生活環境について

	満足度が高い項目	不満度が高い項目
国見町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「自然・緑の豊かさ、美しさ」</li> <li>●「住宅地としての静けさ、雰囲気」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「公共交通の利便性」</li> <li>●「働く場、就業機会の充実度」</li> <li>●「街路灯の数、夜道の安全性」</li> </ul>
瑞穂町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「自然・緑の豊かさ、美しさ」</li> <li>●「住宅地としての静けさ、雰囲気」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「公共交通の利便性」</li> <li>●「働く場、就業機会の充実度」</li> <li>●「街路灯の数、夜道の安全性」</li> </ul>

◇将来の地域の役割について

	第1位	第2位	第3位
国見町	●農業や畜産の振興による「食料生産地」としての役割	●豊かな自然を守り、活かした「エコのまち」としてのイメージ形成を担う役割	●特定の機能の専門性ではなく、「総合的な暮らしやすさ」を提供する役割
瑞穂町	●農業や畜産の振興による「食料生産地」としての役割	●豊かな自然を守り、活かした「エコのまち」としてのイメージ形成を担う役割	●美しく特徴的な景観などを活かした「雲仙らしい風景」を担う役割

### 《地域別ワークショップ意見》

◇地域の重要な取り組み（第3回地域別ワークショップのまとめ）

	地域の重要な取り組み
国見町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●神代小路及び周辺を含めた景観・環境保全・再生</li> <li>●埋立地の有効活用</li> <li>●淡島神社公園の改善</li> <li>●百花台公園の観光拠点としての活用</li> <li>●長浜の観光地としての整備・改善</li> </ul>
瑞穂町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●西郷川などの美しい水辺の再整備（清掃活動、海～川～山の連携）</li> <li>●国道 251 号と雲仙グリーンロード*のアクセス道路の整備（標識含む）</li> <li>●耕作放棄地*の利活用（都市と農村の交流・森林への転換）</li> <li>●農地の改善</li> <li>●みずほすこやかランドの再整備（脱衣場等）</li> </ul>

### (3)総合計画における地域振興計画／北部地域

	まちづくりの方向性
国見町	<p>本地域では、イチゴやメロン、花き等の施設園芸や畜産を中心とする農業と、タイラガネやアサリを中心とする漁業の振興を図るとともに、県立百花台公園や国見総合運動公園等のスポーツ施設でのスポーツ大会、「くにみの日」などのイベントの開催や神代小路地区の街なみをはじめとした歴史・文化施設を観光資源として活用し、交流人口の増加を図り、地域の活性化に努めます。</p> <p>また、この他、県による埋立事業が進められ、その活用に期待が寄せられています。観光土産品としては、蒲鉾・菓子等の特産品の販売拡大や新たな特産品の開発等に取り組み、産業の活性化を図ると共に、美しい自然と街なみを生かしながら、活力と魅力に溢れたまちづくりを進めます。</p>
瑞穂町	<p>本地域の主要作物の一つである水稻は、豊かな岩戸湧水に育まれた「西郷米」として広く知れ渡っています。またカーネーション等の花き栽培も盛んで、イチゴ、雲仙茶等も県内上位の生産地として産地化しています。これらの優良特産品の他、野菜や果樹等の露地栽培、施設園芸、そして畜産を中心とした農業の振興を図ります。水産業ではアサリやカキ養殖の振興を目指します。また、グリーンツーリズム<sup>※</sup>を目的とした「みずほの森公園」や農村公園<sup>※</sup>「水車の郷」、そしてスポーツ合宿地として「みずほすこやかランド」を市の広域観光資源として活用し、交流人口の増加を図り、地域の活性化に努め、水と緑あふれる田園のまちづくりを推進します。</p> <p>また本地域では、自然に優しい、人に優しい総合的な環境整備に取り組み、自然環境と調和したまちづくりを推進します。</p>

### (4)地域の主要課題／北部地域

地域の現況、市民アンケート結果、地域別ワークショップ結果、雲仙市総合計画<sup>※</sup>等を踏まえ、本地域における主要課題を抽出します。

#### <地域の主要課題>

- 自然環境・田園環境の保全と観光交流への活用
- 安全・快適な居住環境の整備
- 地域特有の自然、歴史資源の魅力の向上

## 2-2 北部地域のまちづくり方針

### (1) 地域づくりの目標／北部地域

#### 《地域の将来像》

**「自然と歴史・文化の魅力を感じる暮らしやすい地域」**

#### 《地域づくりの目標》

##### ◆豊かな自然や田園環境を保全・改善・活用するまちづくり

雲仙北山麓の良好な自然環境や、田園環境を大切に保全・改善・活用を図るとともに、グリーンツーリズム※、エコツーリズム※といった、新たな交流を創出する地域づくりを目指します。



##### ◆交通アクセスの改善に努め、安全で快適に暮らせるまちづくり

公共交通のアクセス改善や市街地内道路環境の改善に努めることにより、安全性、快適性の向上を図ります。また、山地や農地との調和を図るとともに、有明海、土黒川、西郷川などの水辺空間※の活用を図り、静かで快適に暮らせる住環境を形成します。



##### ◆神代小路や遺跡などの歴史・文化資源を活かした魅力的なまちづくり

重要伝統的建造物群保存地区※である神代小路や全国的にも有名な百花台遺跡、新観光百選にも選ばれた岩戸神社などの歴史文化遺産を活かした景観の形成や観光交流拠点の形成を図り、魅力的な地域づくりを目指します。



## (2)地域づくりの方針／北部地域

### ①土地利用※及び市街地整備に関する方針

- 良好な住環境を形成するため、土地利用コントロール※手法の導入を検討します。
  - ・雲仙グリーンロード※沿道から有明海沿岸の地域における都市計画区域※見直しの検討
  - ・多比良駅周辺市街地における用途地域※の検討
  - ・その他都市計画白地における特定用途制限地域※等指定の検討
- 就業機会向上のため、環境に配慮した上で産業の場の確保に努めます。
  - ・多比良港埋立地や瑞穂企業立地促進法※適地における環境に配慮した産業の場の形成
- 自然環境に配慮した土地利用※に努めます。
  - ・農地の保全と耕作放棄地※の有効活用
  - ・蛍の生息地等の自然環境の保全と再生
- 多比良駅、多比良港周辺の拠点性の向上を図ります。
  - ・埋立地の有効活用の検討
  - ・多比良駅周辺のまちづくりの検討
- 神代小路を活かした歴史的まちづくりの推進を図ります。
  - ・神代小路周辺の景観保全・再生

### ②道路・交通に関する方針

- 国道、県道等の整備・改善を関係機関に働きかけます。
  - ・地域高規格道路※島原道路の整備促進
  - ・国道251号の歩道等の整備促進
  - ・国道389号の改良整備促進
- 円滑な交通に向けた市道の整備・改善を図ります。
  - ・国道251号と雲仙グリーンロード※を活かした道路ネットワークの構築
  - ・市街地・集落地内道路の整備・改善
  - ・通学路における安全対策の実施
- 公共交通の改善を促進します。
  - ・鉄道・バスダイヤの改善促進
  - ・乗合タクシー※等の公共交通の整備を検討

### ③公園・緑地・水辺に関する方針

- 百花台公園、みずほすこやかランドの大規模公園の観光拠点としての活用に努め

ます。

- ・百花台公園の整備促進と有効活用
- ・みずほすこやかランドの施設の充実と活用
- ・浜田橋周辺の整備と活用
- 淡島神社や河川など地域の身近な資源を活かした公園・緑地づくりを検討します。
  - ・淡島公園の改善・活用
  - ・神代小路や城跡、古墳など歴史資源の保全と公園整備の検討
- 河川や海岸を活かした水辺環境の整備を図ります。
  - ・多自然型川づくりの推進
  - ・長浜の歴史や潮干狩りを活かした観光地としての整備・改善
- 身近な公園・広場の確保について検討し、その整備の推進を図ります。
  - ・身近な公園・広場の整備の検討

#### ④上下水道等に関する方針

- 生活排水対策方法を検討し、その整備の推進を図ります。
  - ・生活排水対策の推進
- 上水道の水質向上を図ります。
  - ・水質悪化がみられる瑞穂町の一部における水道施設の改善

#### ⑤景観に関する方針

- 観光地等をつなぐ沿道景観づくりを推進します。
  - ・神代小路等の観光資源への案内誘導サイン\*の整備・改善
  - ・雲仙グリーンロード\*沿道等の景観形成
- 地域の資源や特性を活かした景観づくりを推進します。
  - ・ノーベル賞下村氏生家等の歴史的建造物や古民家等の保全

### 北部地域まちづくり構想図

《地域の将来像》

「自然と歴史・文化の魅力を感ずる暮らしやすい地域」

《地域のまちづくり方針》

- ◆豊かな自然や田園環境を保全・改善・活用するまちづくり
- ◆交通アクセス改善に努め、安全で快適に暮らせるまちづくり
- ◆神代小路や遺跡などの歴史・文化資源を活かした魅力的なまちづくり

《地域全体（主に市街地・集落地）に関する施策》

- ・都市計画区域※見直しの検討
- ・用途地域※、特定用途制限地域※等指定の検討
- ・市街地・集落地内道路の整備・改善
- ・通学路における安全対策の実施
- ・乗合タクシー※等の公共交通の整備を検討
- ・生活排水対策の推進
- ・水質悪化がみられる瑞穂地区の一部における水道施設の改善

《地域全体（主に農地・山林）に関する施策》

- ・農地の保全と耕作放棄地※の有効活用
- ・蝨の生息地等の自然環境の保全と再生
- ・多自然型川づくりの推進

・環境に配慮した産業の場の形成

・国道 251 号と雲仙グリーンロード※を活かした道路ネットワークの構築

・浜田橋周辺の整備と活用

・城跡や古墳など歴史資源の保全と公園整備の検討

・雲仙グリーンロード※沿道等の景観形成

・地域高規格道路※島原道路の整備促進

※ルートは未確定であり、位置を示すものではありません。

・百花台公園の有効活用

・長浜の歴史や潮干狩りを活かした観光地としての整備・改善

・みずほすこやかランドの施設の充実と活用

・神代小路周辺の景観保全・再生  
 ・神代小路等の歴史資源の保全と公園整備の検討  
 ・神代小路等の観光資源への案内誘導サイン※の整備・改善

・埋立地の有効活用の検討

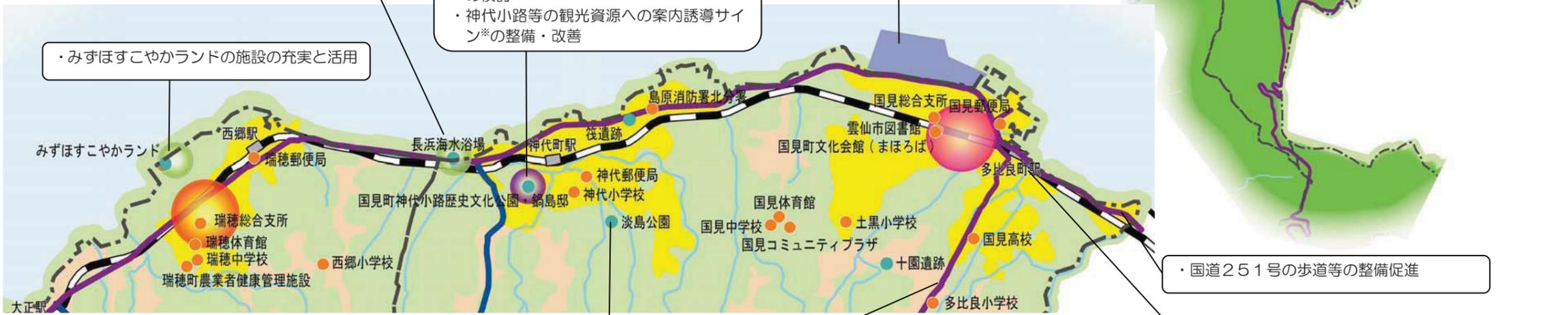
・国道 251 号の歩道等の整備促進

・鉄道・バスダイヤの改善促進  
 ・多比良駅周辺のまちづくりの検討

・ノーベル賞下村氏生家等の歴史的建造物や古民家等の保全

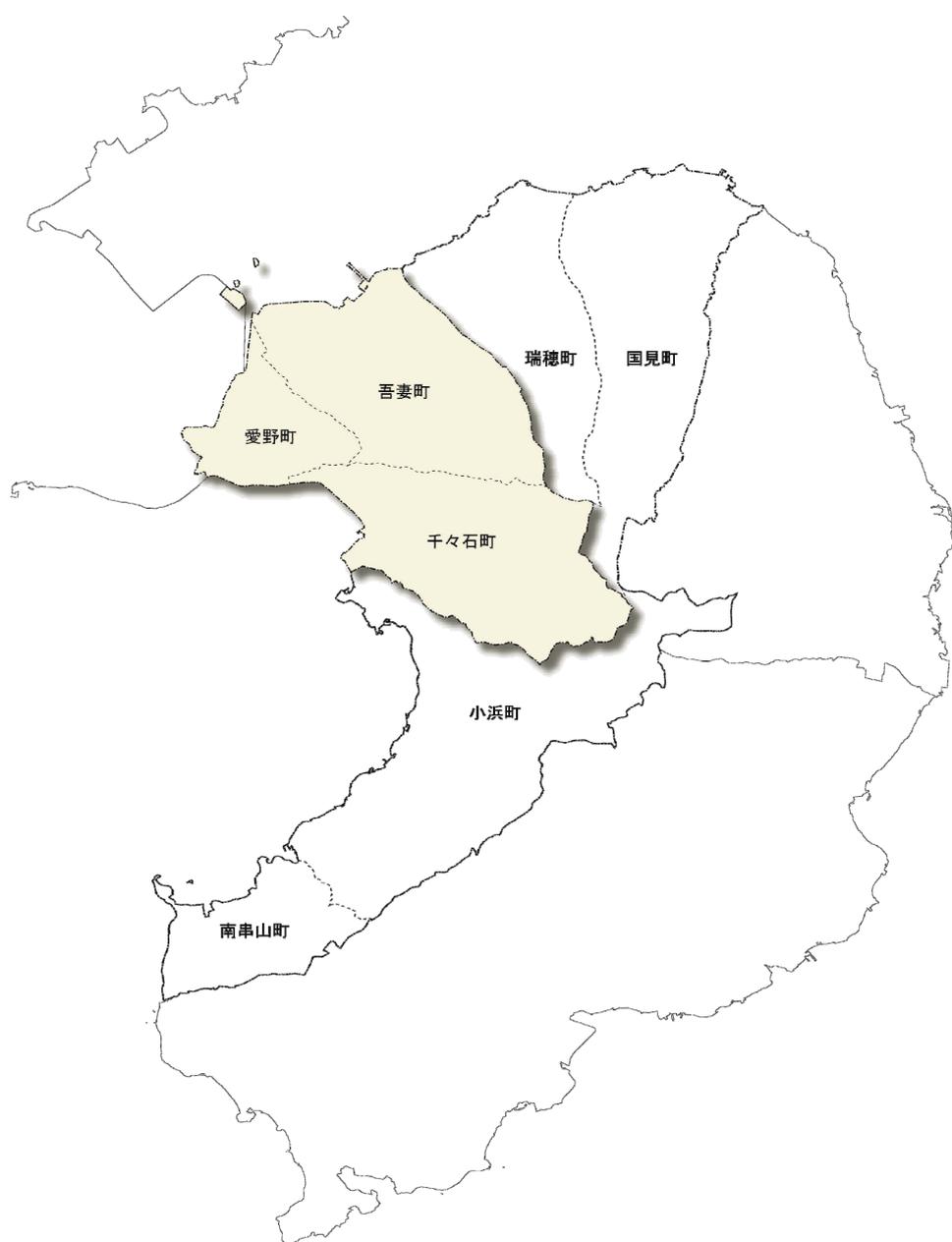
・淡島公園の改善・活用

・国道 389 号の改良整備促進





### 3. 中部地域まちづくり構想



## 3-1 中部地域の概況と課題

### (1)地域の現況／中部地域（吾妻町・愛野町・千々石町）

#### 《位置・地勢》

- 本市の中央部に位置し、諫早市に隣接し、島原半島の陸の玄関口となっています。
- 北は有明海の一部である諫早湾、南西は橘湾に面しており、南東の雲仙に向かって標高が高くなっています。

#### 《人口・世帯数》

- 人口は、愛野町で増加傾向、吾妻町、千々石町とも減少傾向です。世帯数は、増加を示しています。
- 65歳以上人口比率は、26.8%で市平均と同じです。

#### 《産業》

- 産業別就業人口は、市平均に比べ、第1次産業\*の割合が低く、第2次産業\*、第3次産業\*の割合が高くなっています。

#### 《道路・交通》

- 道路は、東西方向に国道251号、主要地方道愛野島原線、雲仙グリーンロード\*が通っており、南北方向に、国道57号が通り、骨格を形成しています。
- 鉄道は、島原鉄道が有明海沿岸の愛野町、吾妻町に通っています。

#### 《土地利用\*（市街地形成）》

- 市役所・総合支所周辺に市街地が広がっており、本地域においては、愛野総合支所周辺が最も規模が大きく、大型商業施設の立地もみられます。
- 愛野町では、開発動向が活発です。

#### 《地域の主な資源》

- 吾妻町には、牧場地を公園として開放した「牧場の里あづま」や清流を活かした「溪流公園」、中世の城跡を整備した「山田城址公園」、「守山城址公園」の他、歴史上の貴重な遺跡である「大塚古墳」があります。
- 愛野町には、長崎県新観光百選に選ばれた愛野展望台から望む雲仙岳や橘湾の景観や、地形を活かした風力発電施設、「首塚」や「一本松古墳」といった歴史的資産があります。
- 千々石町には、白砂青松百選に選ばれた「千々石海岸」や「千々石活断層」等の景勝や、「橘神社」、「千々石川」、「湧水」、棚田百選に選ばれた「清水棚田」があります。

図 人口世帯数の推移

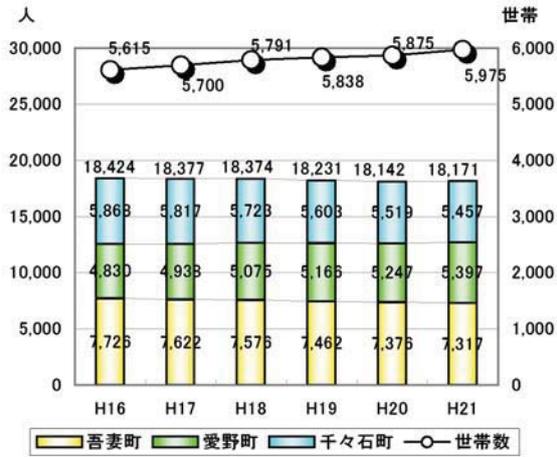
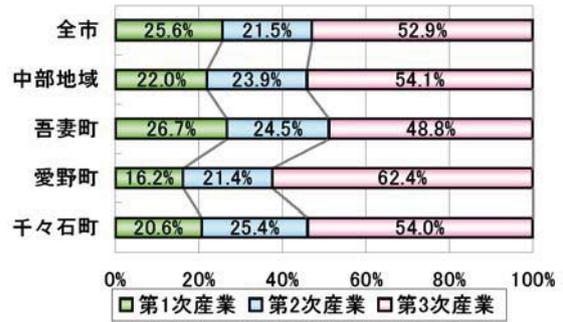
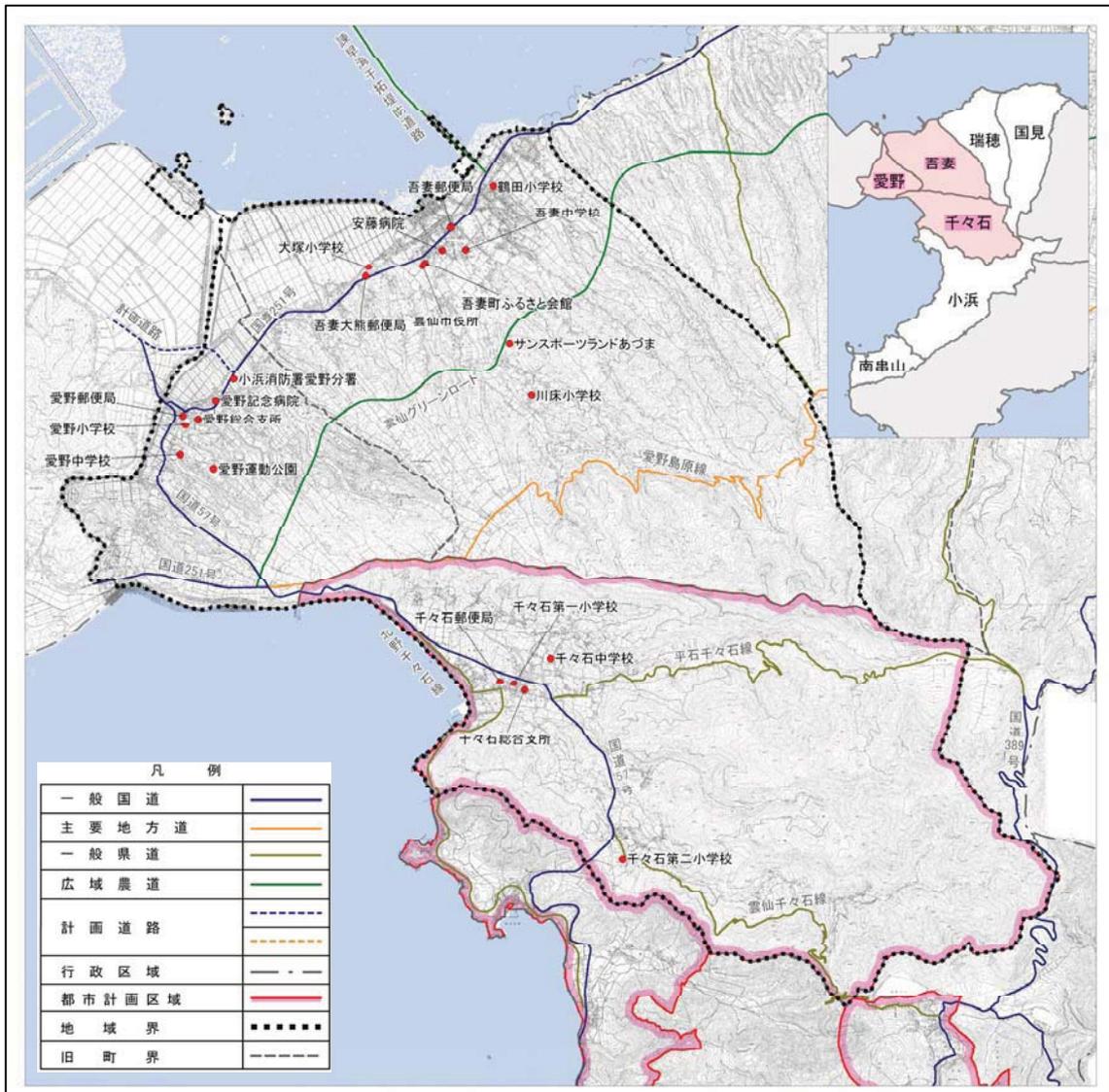


図 産業別就業人口割合



資料：平成17年国勢調査※

資料：住民基本台帳※  
各年3月末のデータ



## (2)地域住民の意見／中部地域

### 《市民アンケート》

◇地域の生活環境について

	満足度が高い項目	不満度が高い項目
吾妻町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「自然・緑の豊かさ、美しさ」</li> <li>●「住宅地としての静けさ、雰囲気」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「働く場、就業機会の充実度」</li> <li>●「公共交通の利便性」</li> <li>●「子どもの遊び場や公園の充実度」</li> </ul>
愛野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「自然・緑の豊かさ、美しさ」</li> <li>●「日常の買い物の利便性」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「子どもの遊び場や公園の充実度」</li> <li>●「街路灯の数、夜道の安全性」</li> <li>●「公共交通の利便性」</li> </ul>
千々石町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「自然・緑の豊かさ、美しさ」</li> <li>●「住宅地としての静けさ、雰囲気」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「公共交通の利便性」</li> <li>●「働く場、就業機会の充実度」</li> <li>●「子どもの遊び場や公園の充実度」</li> </ul>

◇将来の地域の役割について

	第1位	第2位	第3位
吾妻町	●農業や畜産の振興による「食料生産地」としての役割	●豊かな自然を守り、活かした「エコのまち」としてのイメージ形成を担う役割	●住宅開発を促し、市外からの人口流入を目指す「住むまち」としての役割
愛野町	●住宅開発を促し、市外からの人口流入を目指す「住むまち」としての役割	●豊かな自然を守り、活かした「エコのまち」としてのイメージ形成を担う役割	●美しく特徴的な景観などを活かした「雲仙らしい風景」を担う役割
千々石町	●美しく特徴的な景観などを活かした「雲仙らしい風景」を担う役割	●豊かな自然を守り、活かした「エコのまち」としてのイメージ形成を担う役割	●住宅開発を促し、市外からの人口流入を目指す「住むまち」としての役割

### 《地域別ワークショップ意見》

◇地域の重要な取り組み（第3回地域別ワークショップのまとめ）

	地域の重要な取り組み
吾妻町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●牧場の里の再生・活用</li> <li>●諫早湾干拓堤防道路*入口における新たな観光拠点の整備</li> <li>●大塚古墳の再生・活用（サイン*計画等）</li> <li>●旧県道の整備改善（JA 吾妻及び大塚小学校付近の鋭角交差点の改良）</li> <li>●来訪者・観光客の受け入れ体制の整備（駐車場整備、農家民泊等）</li> </ul>
愛野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●愛野駅周辺整備・活用</li> <li>●愛野展望台の整備・改善</li> <li>●通学路等における安全対策（街灯等）の実施</li> <li>●運動公園の再生・活用</li> <li>●竹火の浜周辺整備・活用</li> </ul>
千々石町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定住人口増加にむけた市街地整備</li> <li>●千々石海岸の砂浜の保全・再生（松林の保全、景観、防災）</li> <li>●地域イベントの再生</li> <li>●既存ストックの有効活用（新たな道路・ハコモノ整備*はしない）</li> <li>●歴史的文化的文化財の保全と活用（石橋の有効活用）</li> </ul>

### (3)総合計画における地域振興計画／中部地域

	まちづくりの方向性
吾妻町	<p>本地域では、干拓地をはじめとする広大な農地が広がる農業地帯であり、この豊かな資源を最大限に活かしたまちづくりに取り組みます。基幹産業<sup>※</sup>である農業を中心とする地域内産業の活性化と企業誘致による雇用の増大を図り、環境保全対策としての下水道整備など住環境の整備を推進します。</p> <p>また、地域の資源や素材を活用・連携させた観光にも取り組み、交流による活性化と定住促進を図りながら、人と自然にやさしい快適で安心安全なまちづくりを進めます。</p>
愛野町	<p>本地域では、水田地帯では水稲が作付けされ、国道 57 号と 251 号に囲まれた区域では馬鈴薯団地が広がり、住宅地と農地が混在しているため、担い手農家に農地の集積を図り、農業と融合した魅力ある田園都市型のまちづくりを推進します。</p> <p>また本地域は市内で唯一人口増加を示しており、更に人口増加が見込まれ、「雲仙市」の中央地区として市発展の牽引的役割を担う地域として期待されています。</p> <p>今後、交通及び住宅、商業、公共機関の拠点として、道路・流通・公園・住宅環境などの基盤整備に取り組み、定住人口、更には交流人口の増加を図り、人の集う賑わいのあるまちづくりを進めます。</p>
千々石町	<p>本地域では、「棚田米」を代表とする良質米、馬鈴薯、施設園芸、畜産を中心とした農業と、栽培漁業、養殖漁業を中心とした水産業の振興を推進します。</p> <p>また、本市における自然体験型観光の拠点づくりのために、河川公園、自然公園<sup>※</sup>、白砂青松を活かした海浜公園<sup>※</sup>の整備を進めます。</p> <p>更に、水源かん養<sup>※</sup>及び他の地域と連携した水の有効利用を図りながら、クリーンエネルギー<sup>※</sup>の普及促進等により豊かな自然環境を守り、豊富な湧水を利用した、田舎ならではの賑わいと潤いある田園空間の形成を進めます。</p> <p>国道 57 号の拡張や地域高規格道路<sup>※</sup>島原道路の整備など、県央地域への交通アクセスの利便性の向上による交流、定住人口の増加、商店街の活性化、魅力ある地域コミュニティ<sup>※</sup>の醸成を図り、自然と調和のとれた「にぎわいとやすらぎのまちづくり」を推進します。</p>

### (4)地域の主要課題／中部地域

地域の現況、市民アンケート結果、地域別ワークショップ結果、雲仙市総合計画<sup>※</sup>等を踏まえ、本地域における主要課題を抽出します。

#### <地域の主要課題>

- 本市の中核を担う地域としての都市機能の充実
- 安全、便利で快適な住環境整備
- 特徴的な地域資源の活用

## 3-2 中部地域のまちづくり方針

### (1) 地域づくりの目標／中部地域

#### 《地域の将来像》

**「自然に調和した快適な暮らしと賑わいのある地域」**

#### 《地域づくりの目標》

##### ◆定住促進に向けた利便性の高い住環境と賑わいのある都市拠点づくり

将来の少子高齢化※を踏まえ、住みたくなる利便性の高い住環境を形成します。特に愛野地区中心部においては、生活利便施設※の集積や公共交通の結節点としての利便性を活かし、基盤整備に取り組み、定住人口、交流人口の増加を図り、人の集う賑わいのある市街地の形成を目指します。



##### ◆自然と調和のとれたやすらぎのある住環境づくり

市街地周辺の良好な自然環境の保全や住宅地の緑地の確保を図り、利便性やにぎわいとともによささを感じることができる良好な住環境を形成します。また、土地利用※の規制・誘導を図り、安全、安心なまちづくりを進めていきます。



##### ◆優れた自然や歴史を活かした、魅力的な地域づくり

日本の自然百選等に選ばれた「千々石海岸」、ジオパーク※の構成資源として認定された「千々石活断層」など地域特有の景観資源や、「橘神社」、「大塚古墳」などの歴史資源、牧場地を活かした「牧場の里」、「こぶ高菜」など地域特有の資源を活かした魅力的な地域づくりを進めます。



## (2)地域づくりの方針／中部地域

### ①土地利用※に関する方針

- 良好な住環境を形成するため、土地利用コントロール※手法の導入を検討します。
  - ・愛野町全域及び吾妻町の雲仙グリーンロード※沿道周辺から有明海沿岸の地域における都市計画区域※見直しの検討
  - ・愛野町中心市街地における用途地域※の検討
  - ・その他都市計画白地における特定用途制限地域※等指定の検討
- 就業機会向上のため、環境に配慮した上で産業の場の確保に努めます。
  - ・吾妻工業団地、愛野及び千々石の企業立地促進法※適地における環境に配慮した産業の場の形成
- 自然環境に配慮した土地利用※に努めます。
  - ・農地の保全と耕作放棄地※の有効活用
  - ・蛍の生息地等の自然環境の保全と再生
- 愛野町中心部の拠点性の向上を図ります。
  - ・愛野町中心部の生活利便施設※集積地の機能強化
- 愛野展望台周辺の観光拠点としての機能向上を図ります。
  - ・愛野展望台周辺の整備・改善

### ②道路・交通に関する方針

- 国道、県道等の整備・改善を関係機関に働きかけます。
  - ・地域高規格道路※島原道路の整備促進（愛野森山バイパスの早期整備）
  - ・地域高規格道路※島原道路の整備促進（愛野～島原間）
  - ・県道雲仙千々石線の道路環境改善の促進
- 円滑な交通に向けた市道の整備・改善を図ります。
  - ・国道 251 号と雲仙グリーンロード※を活かした道路ネットワークの構築
  - ・市街地・集落地内道路の整備・改善
  - ・通学路における安全対策の実施
- 公共交通の改善を促進します。
  - ・愛野駅における交通結節機能の強化
  - ・鉄道・バスダイヤの改善促進
  - ・乗合タクシー※等の公共交通の整備を検討

### ③公園・緑地・水辺に関する方針

- 諫早湾干拓堤防道路※周辺埋立地における新規公園等の整備を推進します。
  - ・諫早湾干拓堤防道路※周辺埋立地における新規公園等の整備推進
- 牧場の里の観光拠点としての活用に努めます。
  - ・牧場の里の観光拠点としての活用
- 山王公園や岩戸溪流公園、湧水の森公園等の再生・活用を検討します。
  - ・山王公園の再生・活用
  - ・岩戸溪流公園の再生・活用
  - ・愛野運動公園の整備・拡充
  - ・湧水の森公園の活用
  - ・首塚、大塚古墳等の歴史資源の保全と公園整備の検討
- 河川や海岸を活かした水辺環境の整備を図ります。
  - ・多自然型川づくりの推進
  - ・千々石海岸の保全・再生
  - ・竹火の浜周辺の環境整備推進
- 身近な公園・広場の確保について検討し、その整備の推進を図ります。
  - ・身近な公園・広場の整備の検討

### ④上下水道等に関する方針

- 生活排水対策方法を検討し、その整備の推進を図ります。
  - ・生活排水対策の推進
- 上水道の水質向上を図ります。
  - ・水質悪化がみられる愛野町の一部における水道施設の改善

### ⑤景観に関する方針

- 観光地等をつなぐ沿道景観づくりを推進します。
  - ・牧場の里あずま等の観光資源への案内誘導サイン※の整備・改善
  - ・雲仙グリーンロード※沿道等の景観形成
  - ・猿葉山林道や旧小濱鉄道トンネル群等の個性的な沿道景観の維持・保全
- 地域の資源や特性を活かした景観づくりを推進します。
  - ・良好な農村景観を残す棚田の保全と再生
  - ・石橋等の歴史的施設の保全と活用

### 中部地域まちづくり構想図

《地域の将来像》

「自然に調和した快適な暮らしと賑わいのある地域」

《地域のまちづくり方針》

- ◆定住促進に向けた利便性の高い住環境と賑わいのある都市拠点づくり
- ◆自然と調和のとれたやすらぎのある住環境づくり
- ◆優れた自然や歴史を活かした、魅力的な地域づくり

《地域全体（主に市街地・集落地）に関する施策》

- ・都市計画区域<sup>※</sup>見直しの検討
- ・用途地域<sup>※</sup>、特定用途制限地域<sup>※</sup>等指定の検討
- ・市街地・集落地内道路の整備・改善
- ・通学路における安全対策の実施
- ・乗合タクシー<sup>※</sup>等の公共交通の整備を検討
- ・水質悪化がみられる愛野地区の一部における水道施設の改善
- ・観光資源への案内誘導サイン<sup>※</sup>の整備・改善

《地域全体（主に農地・山林）に関する施策》

- ・農地の保全と耕作放棄地<sup>※</sup>の有効活用
- ・蝨の生息地等の自然環境の保全と再生
- ・多自然型川づくりの推進

本明川河川環境整備事業の推進

・地域高規格道路<sup>※</sup>島原道路の整備促進

※ルートは未確定であり、位置を示すものではありません。

・首塚の歴史資源の保全と公園整備の検討

・竹火の浜周辺環境整備推進

・諫早湾干拓堤防道路<sup>※</sup>周辺埋立地における新規公園等の整備推進

・大塚古墳等の歴史資源の保全と公園整備の検討

・国道 251 号と雲仙グリーンロード<sup>※</sup>を活かした道路ネットワークの構築

・愛野駅における交通結節機能の強化  
・鉄道・バスダイヤの改善促進

・愛野地区中心部の生活利便施設<sup>※</sup>集積地の機能強化

・愛野運動公園の整備・拡充

・山王公園の再生・活用

・愛野展望台周辺の整備・改善

・環境に配慮した産業の場の形成

・牧場の里の観光拠点としての活用

・石橋等の歴史的施設の保全と活用

・良好な農村景観を残す棚田の保全と再生

・千々石海岸の保全・再生

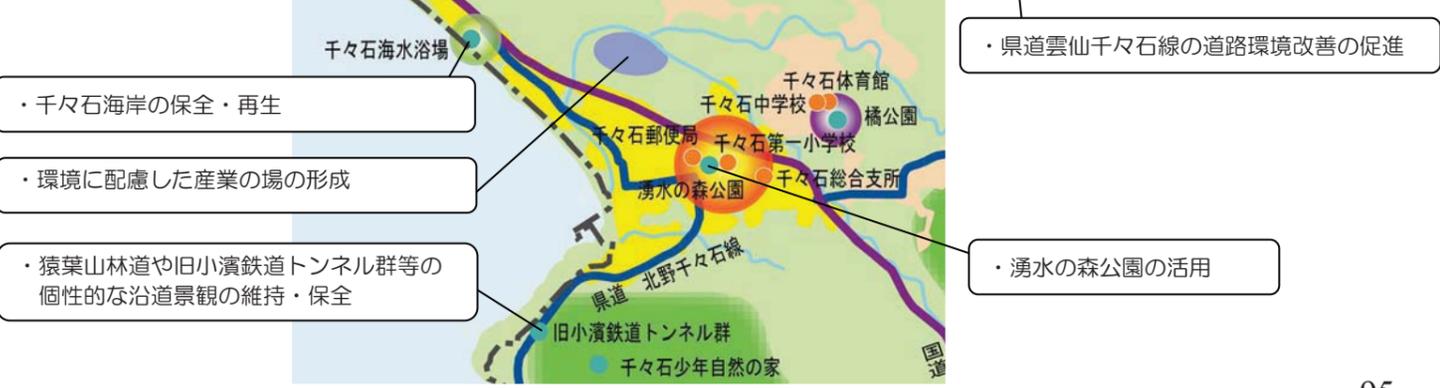
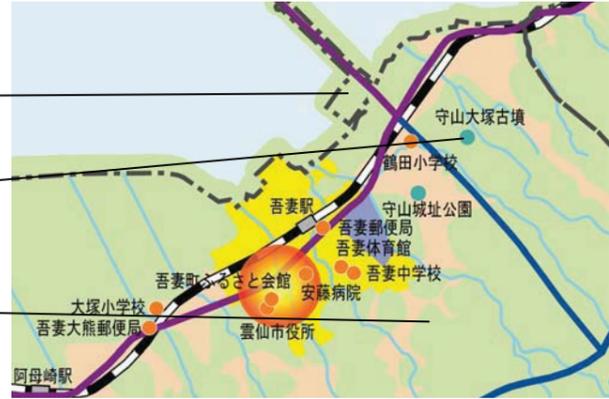
・環境に配慮した産業の場の形成

・猿葉山林道や旧小濱鉄道トンネル群等の個性的な沿道景観の維持・保全

・雲仙グリーンロード<sup>※</sup>沿道等の景観形成

・岩戸溪流公園の再生・活用

- 地域生活中心拠点
- 生活拠点
- 観光・交流拠点
- 歴史・文化拠点
- 森林環境保全地
- 農業地
- 市街地
- 集落地
- 臨港・産業地
- 主要公共施設
- 主要観光交流施設
- 都市間幹線道路
- 都市内幹線道路
- 主要な河川
- 鉄道
- 旧町界

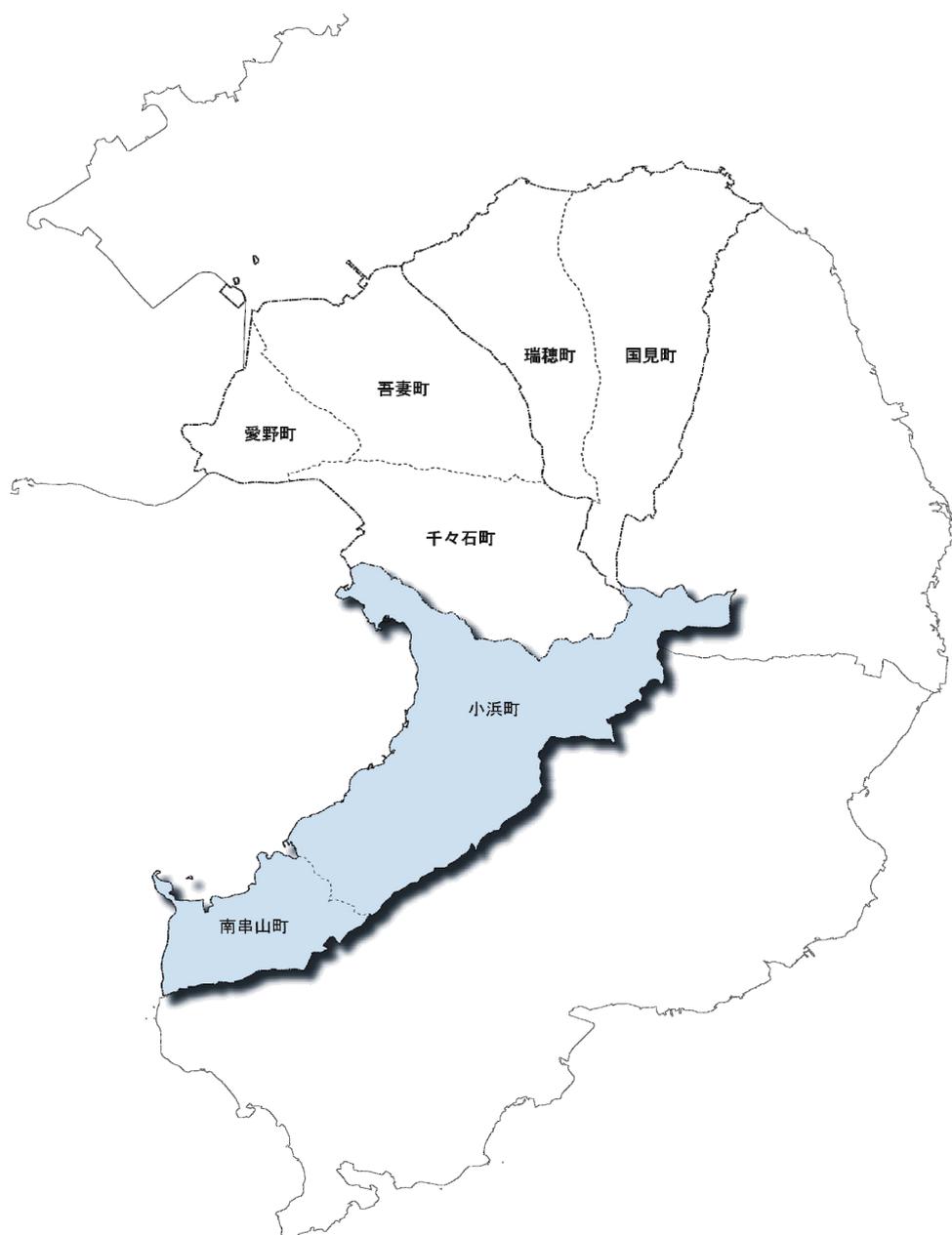


・県道雲仙千々石線の道路環境改善の促進

・湧水の森公園の活用



## 4. 南部地域まちづくり構想



## 4-1 南部地域の概況と課題

### (1)地域の現況／南部地域（小浜町・南串山町）

#### 《位置・地勢》

- 本市の南部に位置し、南島原市に隣接しています。
- 西は橘湾に面しており、北東の雲仙に向かって標高が高くなっています。

#### 《人口・世帯数》

- 人口は、小浜町、南串山町とも減少傾向です。世帯数も減少しています。
- 65歳以上人口比率は、27.6%で市平均26.8%を上回っています。

#### 《産業》

- 産業別就業人口は、小浜町と南串山町で大きく異なり、小浜町は、第1次産業\*の割合が低く、第3次産業\*の割合が高くなっています。
- 南串山町は、第1次産業\*の割合が半数近くを占めています。
- 地域全体としては、第2次産業\*の割合が、市平均に比べ低くなっています。

#### 《道路・交通》

- 道路は、橘湾沿岸に国道57号（国道251号）が通っており、並行して山間部に雲仙グリーンロード\*が通っています。また、国道57号は、小浜温泉街から雲仙にも通じています。

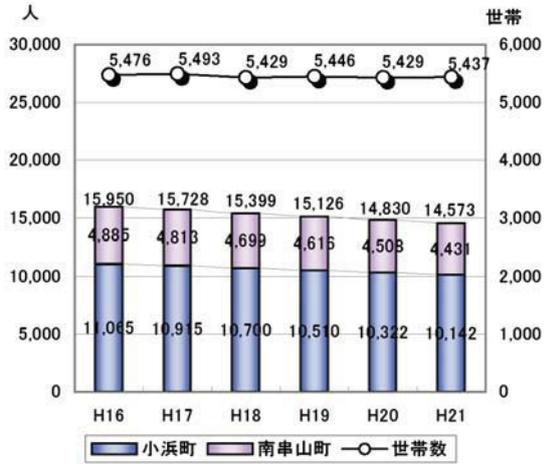
#### 《土地利用\*（市街地形成）》

- 総合支所周辺や雲仙温泉街に市街地が広がっており、本地域においては、小浜総合支所周辺が最も規模が大きくなっています。

#### 《地域の主な資源》

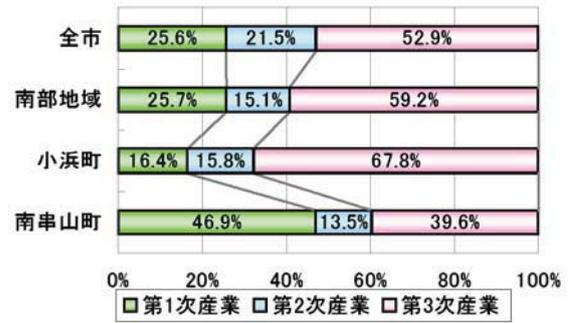
- 小浜町には、日本で最初の国立公園\*の一つである「雲仙天草国立公園\*」、明治の頃に外国人の避暑地として開かれた国際的な観光地でもある「雲仙温泉」、最も古いパブリックコース\*の「雲仙ゴルフ場」、夕日が美しい橘湾を臨む海辺の温泉街である「小浜温泉」、日本陸連公認の「雲仙小浜マラソンコース」があります。また、平成22年2月に日本一の長さとなる「小浜マリナーパーク足湯（愛称：ほっとふっと105）」が完成しました。
- 南串山町には、青い海や亜熱帯植物など大自然を満喫できる「県立自然公園\*国崎半島」、新たな観光・フォトスポットになりつつある「棚田や段々畑の景観」、食の世界遺産として登録された「エタリの塩辛」や、煮干しの加工品、養殖ハマチがあります。

図 人口世帯数の推移

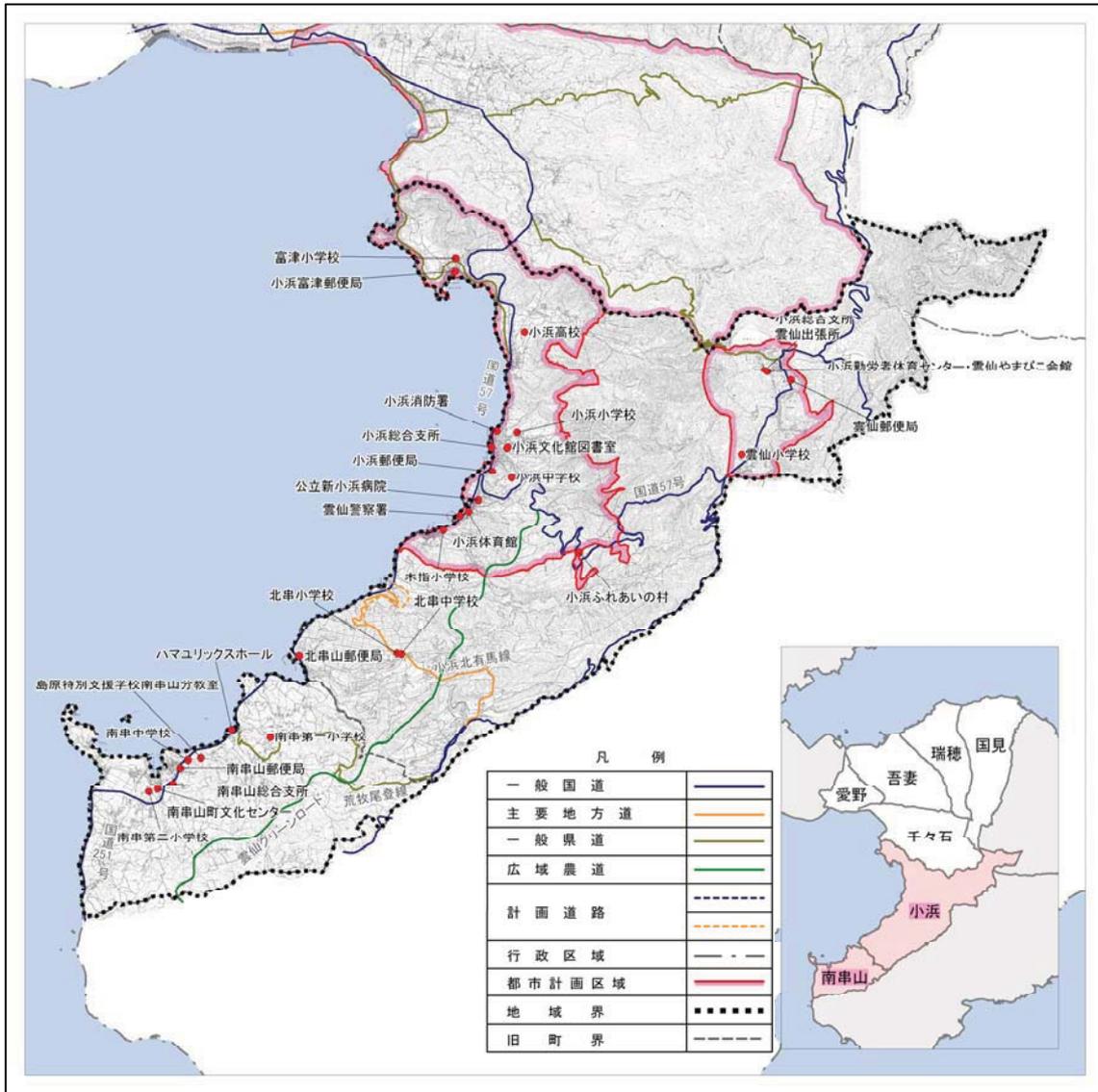


資料：住民基本台帳※  
各年3月末のデータ

図 産業別就業人口割合



資料：平成17年国勢調査※



## (2)地域住民の意見／南部地域

### 《市民アンケート》

◇地域の生活環境について

	満足度が高い項目	不満度が高い項目
小浜町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「自然・緑の豊かさ、美しさ」</li> <li>●「住宅地としての静けさ、雰囲気」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「公共交通の利便性」</li> <li>●「子どもの遊び場や公園の充実度」</li> <li>●「働く場、就業機会の充実度」</li> </ul>
南串山町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「自然・緑の豊かさ、美しさ」</li> <li>●「住宅地としての静けさ、雰囲気」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「公共交通の利便性」</li> <li>●「子どもの遊び場や公園の充実度」</li> <li>●「働く場、就業機会の充実度」</li> </ul>

◇将来の地域の役割について

	第1位	第2位	第3位
小浜町	●恵まれた観光資源や滞在環境を活かし、多くの人の「来訪を促進」する役割	●美しく特徴的な景観などを活かした「雲仙らしい風景」を担う役割	●農業や畜産の振興による「食料生産地」としての役割
南串山町	●農業や畜産の振興による「食料生産地」としての役割	●豊かな自然を守り、活かした「エコのまち」としてのイメージ形成を担う役割	●特定の機能の専門性ではなく、「総合的な暮らしやすさ」を提供する役割

### 《地域別ワークショップ意見》

◇地域の重要な取り組み（第3回地域別ワークショップのまとめ）

	地域の重要な取り組み
小浜町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幹線道路※の整備・改善</li> <li>●公共交通（バス）の整備・改善</li> <li>●小浜マリーナの活用</li> <li>●歩いて楽しめる湯の街として小浜温泉街の整備・改善</li> <li>●景観・風景を活かした環境整備</li> <li>●文化施設（多目的ホール等）の整備・改善・活用</li> <li>●雲仙温泉の整備・改善（周辺整備、雲仙地獄再整備等）</li> </ul>
南串山町	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然環境保全対策の実施</li> <li>●上水道の改善・整備</li> <li>●（仮称）市民会議の開催</li> <li>●地域ブランドの普及・啓発</li> <li>●新たな観光事業の展開（グリーンツーリズム※など）</li> <li>●市街地内道路の整備</li> </ul>

### (3)総合計画における地域振興計画／南部地域

まちづくりの方向性	
小浜町	<p>本地域は日本有数の温泉郷として、「海の温泉」、「山の温泉」それぞれの温泉街の魅力ある観光地づくりや特色ある商店街、街なみづくりに取り組むとともに、市内各地域と連携し、観光客誘致を図ります。</p> <p>また、雲仙・小浜温泉におけるホテル旅館等を活用した市内の観光資源の情報発信と市の農林水産物の地産地消<sup>※</sup>を推進し、相互連携による「雲仙ブランド化」も併せて推進します。</p> <p>農業では、基幹作物である馬鈴薯等露地野菜栽培や施設園芸など農業振興を図り、水産業では、養殖漁業や栽培漁業の振興を図ります。</p> <p>更に、各地域から「雲仙温泉」、「小浜温泉」へのアクセス道路の整備を進め、観光地としてのイメージアップを図ります。</p>
南串山町	<p>本地域では、馬鈴薯やレタス、カボチャ等の露地野菜栽培を中心とした環境保全型農業や養殖漁業を含めた資源管理型漁業の振興を図ります。</p> <p>農水産業の1. 5次産業<sup>※</sup>化への展開を推進し、煮干しやエタリの塩辛等を代表とする加工品の商品化により、本市食文化の拠点づくりに取り組みます。</p> <p>また、国崎半島は本市の広域観光におけるブルーツーリズム<sup>※</sup>の拠点の一つとして、ハマユリックスホールは本市の文化、教養の拠点の一つとして活用します。</p> <p>そして、他地域と連携した水資源の確保に努めるとともに、環境浄化を推進し、道路網の整備を進め、交通アクセスの改善に努め、生活環境整備の充実を図ります。</p>

### (4)地域の主要課題／南部地域

地域の現況、市民アンケート結果、地域別ワークショップ結果、雲仙市総合計画<sup>※</sup>等を踏まえ、本地域における主要課題を抽出します。

#### <地域の主要課題>

- 日本を代表する観光地を有する地域としてふさわしいまちづくり
- 快適に暮らせる生活基盤の充実
- 自然災害対策の強化

## 4-2 南部地域のまちづくり方針

### (1) 地域づくりの目標／南部地域

#### 《地域の将来像》

**「温泉・海・山の資源をいかした活気ある生活と観光の地域」**

#### 《地域づくりの目標》

##### ◆もてなしと交流のある魅力的なまちづくり

日本有数の温泉地である「雲仙温泉」、「小浜温泉」やジオパーク※の構成資源として認定された「雲仙岳」、食の世界遺産として「味の箱舟」に認定された「エタリの塩辛」などの地域特有の自然・資源を活かし、もてなしと交流による観光客でにぎわう地域づくりを進めます。



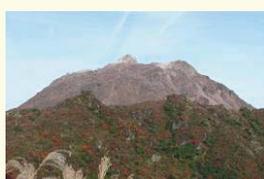
##### ◆便利な暮らし、活力ある観光・産業を支える基盤づくり

地域住民の生活利便性の向上のため、生活基盤である道路、公園、上下水道の整備に努めます。特に、県央地域へのアクセス強化については、地域住民はもとより、雲仙天草国立公園※への来訪者の主要アクセスルートとして整備実現に努めます。



##### ◆自然と共存する安全・快適なまちづくり

雲仙をはじめとする山地や丘陵地に広く分布する農地との調和を図り、安全で快適な住環境を形成します。また、その地形条件をふまえ、自然を活かしつつ、災害対策を進めることにより、地域の安全性、快適性の向上を図ります。



## (2)地域づくりの方針／南部地域

### ①土地利用※に関する方針

- 良好な住環境を形成するため、土地利用コントロール※手法の導入を検討します。
  - ・他地域の都市計画区域※見直しに合わせた全市統一的な都市計画区域※見直しの検討
  - ・小浜町中心市街地における用途地域※の検討
  - ・その他都市計画白地における特定用途制限地域※等指定の検討
- 自然環境に配慮した土地利用※に努めます。
  - ・農地の保全と耕作放棄地※の有効活用
  - ・河川、海域の水質向上のための里山の維持管理の促進
  - ・蛍の生息地等の自然環境の保全と再生
- 小浜温泉の拠点性の向上を図ります。
  - ・歩いて楽しめる湯の街として小浜温泉街の整備・改善
  - ・小浜マリーナ埋立地の有効活用の促進
  - ・老朽建築物・空き家等対策の促進
- 雲仙温泉を活かした観光まちづくりの推進を図ります。
  - ・雲仙温泉街まちなか活性化の推進

### ②道路・交通に関する方針

- 国道、県道等の整備・改善を関係機関に働きかけます。
  - ・国道57号代替ルートの整備促進
  - ・国道251号の歩道等の整備促進
- 円滑な交通に向けた市道の整備・改善を図ります。
  - ・市街地・集落地内道路の整備・改善
  - ・通学路における安全対策の実施
- 公共交通の改善を促進します。
  - ・バスダイヤの改善促進
  - ・乗合タクシー※等の公共交通の整備を検討

### ③公園・緑地・水辺に関する方針

- 大規模公園等の観光拠点としての活用に努めます。
  - ・小浜町（とけん山）公園の必要に応じた整備・充実
  - ・県立自然公園※国崎半島の有効活用
  - ・諏訪の池の有効活用
  - ・雲仙岳等の山地の保全と活用

- 河川や海岸を活かした水辺環境の整備を図ります。
  - ・多自然型川づくりの推進
  - ・大浜海岸の整備・改善
- 身近な公園・広場の確保について検討し、その整備の推進を図ります。
  - ・身近な公園・広場の整備の検討

#### ④上下水道等に関する方針

- 生活排水対策方法を検討し、その整備の推進を図ります。
  - ・生活排水対策の推進
- 上水道の水質向上を図ります。
  - ・水質悪化がみられる南串山町の一部における水道施設の改善

#### ⑤景観に関する方針

- 観光地等をつなぐ沿道景観づくりを推進します。
  - ・雲仙温泉、小浜温泉等の観光資源への案内誘導サイン<sup>\*</sup>の整備・改善
  - ・国道、県道等の景観形成
  - ・旧小浜鉄道トンネル群等の個性的な沿道景観の維持・保全
- 地域の資源や特性を活かした景観づくりを推進します。
  - ・国道 57 号や県道北野千々石線等の沿道景観を活かした環境整備・改善

### 南部地域まちづくり構想図

《地域の将来像》  
**「温泉・海・山の資源をいかした活気ある生活と観光の地域」**  
 《地域のまちづくり方針》  
 ◆もてなしと交流のある魅力的なまちづくり  
 ◆便利な暮らし、活気ある観光・産業を支える基盤づくり  
 ◆自然と共存する安全・快適なまちづくり

《地域全体（主に市街地・集落地）に関する施策》

- ・都市計画区域※見直しの検討
- ・用途地域※、特定用途制限地域※等指定の検討
- ・市街地・集落地内道路の整備・改善
- ・通学路における安全対策の実施
- ・バスダイヤの改善促進
- ・乗合タクシー※等の公共交通の整備を検討
- ・市街地内の身近な公園・緑地の整備
- ・生活排水対策の推進
- ・雲仙温泉、小浜温泉等の観光資源への案内誘導サイン※の整備・改善

《地域全体（主に農地・山林）に関する施策》

- ・農地の保全と耕作放棄地※の有効活用
- ・河川、海域の水質向上のための里山の維持管理の促進
- ・蛭の生息地等の自然環境の保全と再生
- ・多自然型川づくりの推進

